

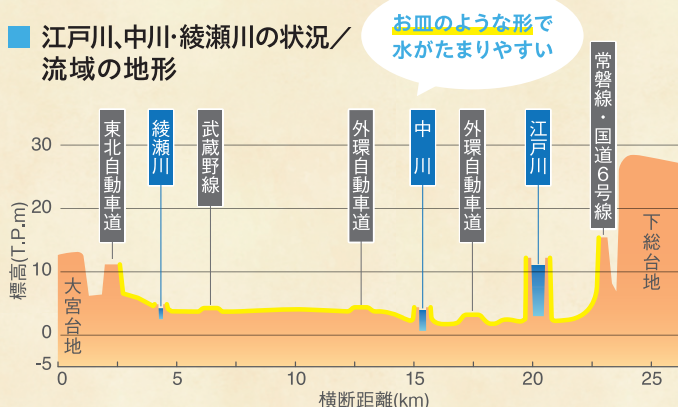
流域治水

by All!

～水害に対して安全なまちづくり～

江戸川や中川・綾瀬川流域って どんなところ？

台地と台地に挟まれた低平地で、昔は利根川や荒川も流れ込んでおり、氾濫を繰り返していた地域です。加えて、近年市街化が急激に進んだことで、さらに浸水しやすい地域です。



いまだんなことが 起きているの？

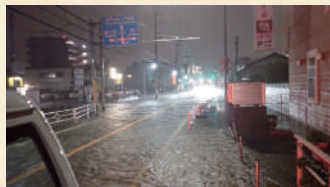
気候変動の影響で
浸水被害を防ぎきれない
可能性が！

これまで行政による河川や放水路※1、排水機場※2などの整備により、浸水被害が減少している一方で、気候変動の影響により洪水の発生頻度が増加すると推測され、従来の行政による対策だけでは対応できない場合が増えてきました。

※1 他の河川または海等へ洪水を流すための人工水路。

※2 小さな川に貯まる水をポンプでくみあげて、大きな川に流す施設。

令和5年台風第2号による浸水被害状況



千葉県松戸市 ※松戸観測所では既往最大雨量を観測しました。



埼玉県越谷市 ※越谷市を中心に長時間にわたり強い雨が降り続けました。

「流域治水」ってなに？

そこで、レベルアップした雨に負けないよう、将来にわたって水害に対して安全なまちづくりを進めていくため、**流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で取り組む治水対策を「流域治水」といいます。**

江戸川や中川・綾瀬川でも、さまざまな「流域治水」の対策を行っています。



他の河川へ洪水を流すための人工水路です

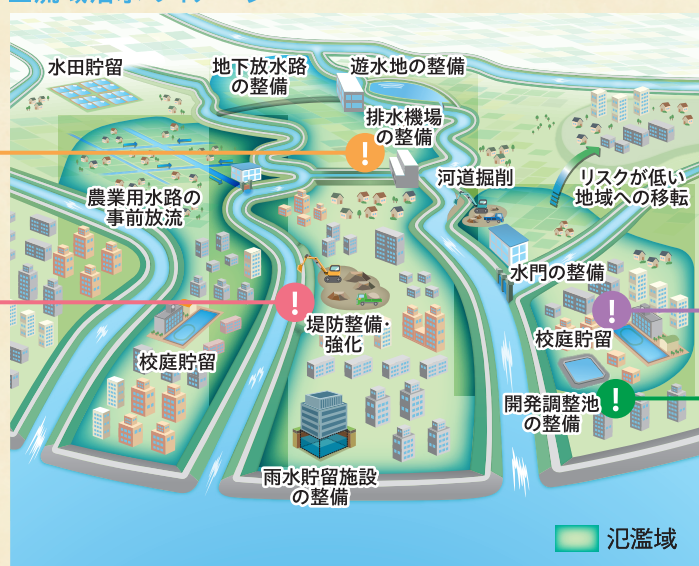
● 放水路・排水機場の整備
(河川における対策)



幅や高さが足りていない堤防を整備したり、強化したりしています

● 堤防整備・強化
(河川における対策)

流域治水のイメージ



校庭や敷地内に降った雨を一時的に貯留し、流出を抑制します

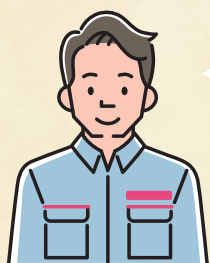
● 校庭貯留
(流域における対策)



開発により雨水流出が増える場合に、雨水を一時的に貯留するための施設を整備します

● 開発調整池の整備
(流域における対策)

流域の住民のみなさんも「流域治水」の主役です！



「流域治水」～水害に対して安全なまちづくり～ 3つの対策の柱 地域の住民のみなさんも「流域治水」の主役です！

江戸川、中川・綾瀬川流域で頻発する浸水被害（主に内水氾濫）に対応するには、流域の住民の皆さんの対策が重要です。ここでは、住民のみなさんがご家庭でできる対策について紹介します！避難への備えや、家庭でできるちょっとした心がけや工夫も「流域治水」の対策になります。

1 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすために、雨水を貯めたり、川の水を安全に流したりします。



■ 排水溝の清掃

大雨のときに、雨水を河川などに排水させる機能を確保することができます。



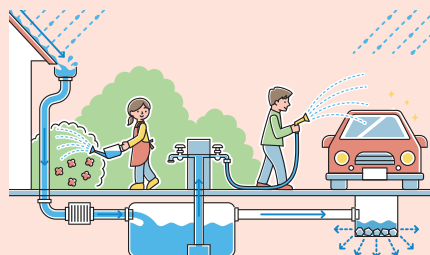
■ お風呂や洗濯の水を流さずためておく

特に大雨のときは、川や下水道を流れる水を減らすことができます。



■ 雨水をためて有効活用する

川や下水道を流れる水を減らすことができます。降った雨を住宅やマンション、会社などに「雨水タンク」を設置してためる場合、補助金の対象となる場合があります。



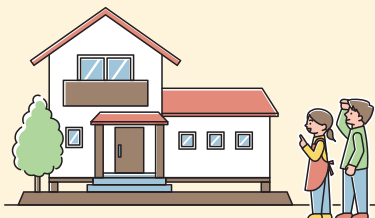
2 被害対象を減少させるための対策

被害対象を減少させるために、リスクの低いエリアへ住まいを誘導したり、浸水範囲を減らしたりします。



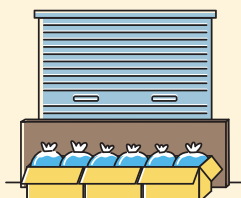
■ 住まいの浸水リスクを確認

住まいを選ぶ際には、ハザードマップや浸水想定図などを確認し、浸水リスクを十分に把握した上で選びましょう。



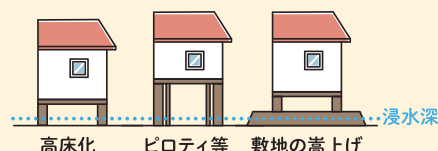
■ 土のうや水のうによる止水

水のうと板を使った簡易止水板による止水や、家庭にあるプランターとレジャーシートなどを使用して家屋への浸水を防ぐことができます。



■ 宅地・建物を浸水に強い構造にする

あらかじめ建物や施設を浸水に強い構造にしておくことで、家屋等への浸水を防ぐことができます。この場合、補助金の対象となる場合があります。



3 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

被害の軽減、早期復旧・復興のために、水害リスク情報を充実させたり、経済被害を最小化させるための計画を立てたりします。



■ 水害時に危険な場所や避難場所・避難ルートの確認

自治体から配布されているハザードマップで、水害時に危険な場所や避難場所・避難ルートの確認を行い、事前にとるべき行動（▶マイ・タイムライン参照）を確認しておくことで、いざというときに慌てず、迅速にご自身やご家族の安全を確保できます。

■ 避難に備えたマイ・タイムラインの作成

マイ・タイムラインとは住民一人ひとりのタイムライン（防災行動計画）であり、台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え、命を守る避難行動のための一助とするものです。



国土交通省
マイ・タイムライン

みなさんができる流域治水の取組と支援制度をポータルサイトで確認してみましょう！

これからも大好きな“まち”で川と共に暮らしていくためにできることから始めましょう！



江戸川、中川・綾瀬川流域治水
ポータルサイト
流域治水を楽しく学びたい方、
イベント情報や対策事例を知りたい方はこちら



関東地方整備局
流域治水推進サポートセンター
支援制度や対策事例等の情報を確認したい
場合はこちら



江戸川流域治水及び
減災対策協議会
中川・綾瀬川流域治水及び
減災対策協議会